

広島県人的資本開示ツールの提供開始について

1 目的

人的資本経営に関心を持つ県内企業が集まる広島県人的資本経営研究会において、人的資本情報開示に有効な指標を体系化するとともに文書化を支援することで情報開示を行いやすくする、「広島県人的資本開示ツール」を作成し、会員企業への提供を開始した。今後は、本ツールの利用促進を図り、県内企業における、開示を起点とした人的資本経営の実践・推進を後押しする。

2 広島県人的資本開示ツールの概要

概要	<ul style="list-style-type: none">○県内企業の人的資本に関する情報の開示を行いやすくするため、研究会活動や有識者の意見等を通じて、情報開示に有効な指標を体系化し、作業要領や指標算出フォーマット等の5つのツールを作成。○専門的な知識等がなくても作業を進められるよう、ツールには作業手順や考え方の詳細、指標を自動算出できる機能等を盛り込んでおり、人的資本開示レポートの作成に係る企業の負担を軽減。
対象企業	広島県人的資本経営研究会会員企業（令和6年12月末時点：139社）
開示ツール	<ul style="list-style-type: none">○<u>人的資本開示作業ガイドライン</u> 人的資本開示作業の準備から開示までの全行程を進める際の確認に用いるガイドライン○<u>Human Capital Report 作成要領</u> 開示レポートの作成にあたって、レポートの各章/ページの作り方を示す作成要領○<u>標準指標体系</u> 人的資本経営の状況を可視化する指標の詳細な解説○<u>標準指標算出フォーマット</u> 指標を算出する際に必要なデータを示すとともに、入力後、自動で指標を計算するフォーマット○<u>Human Capital Report テンプレート</u> 開示レポート全体の構成・構図・デザインを用意し、算出した指標や文章を転記することでレポートとすることができるテンプレート
提供日	令和6年11月15日
提供方法	県ホームページ（ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcm-human-capital/06jinteki-workshop.html ） ※研究会会員企業に限定公開

3 予算額

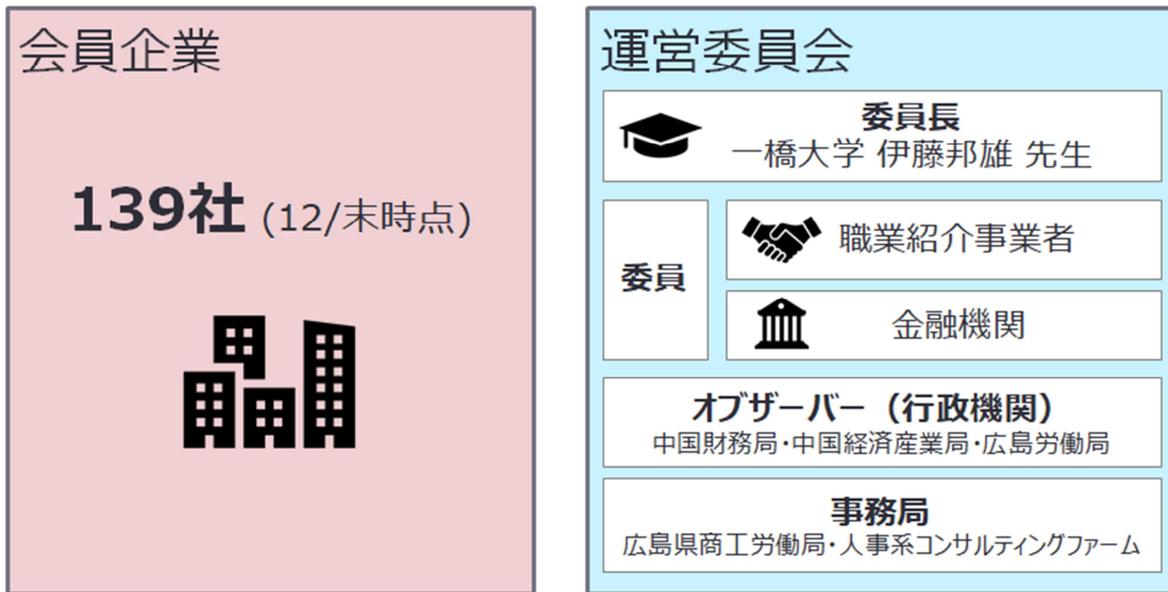
14,468千円（開示ツール作成費）

4 事業目標

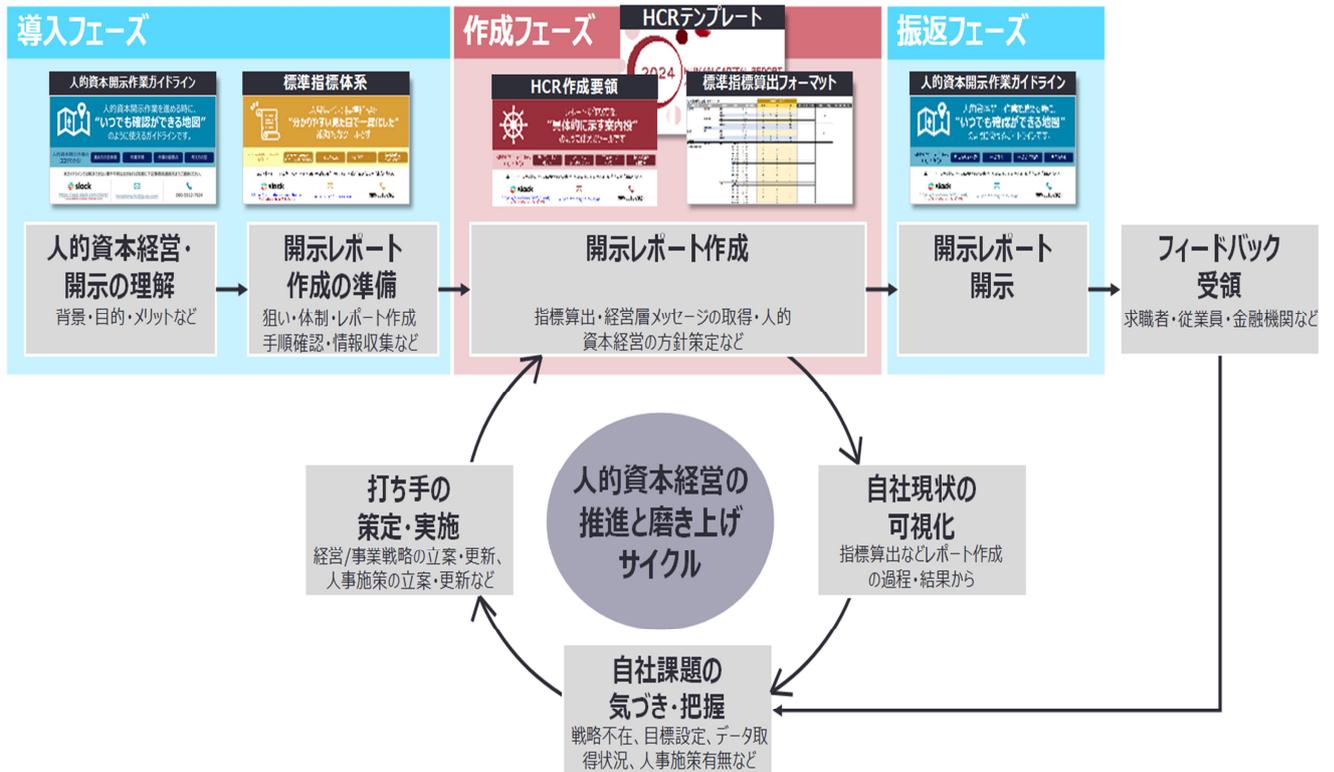
広島県人的資本開示ツールを利用した県内企業数：50社（令和6年度）

<参考：広島県人的資本経営研究会について>

- ・ 人的資本経営の促進を目的とした県内企業等によるコミュニティ
- ・ 人的資本経営の最新動向や成功事例のノウハウを学ぶためのワークショップ等を開催
- ・ 運営委員会による専門家の意見も踏まえ、広島県独自の開示ツールを開発。



<参考：人的資本経営の実践の考え方>



<参考：広島県人的資本開示ツール>

5つの広島県人的資本開示ツール

人的資本開示作業ガイドライン

人的資本開示作業を進める時に、“いつでも確認ができる地図”のように使えるガイドラインです。

人的資本開示作業の
ココがわかる!

進め方の全体像 作業手順 作業の留意点 考え方の型

本ガイドラインでは解決できない事や不明な点があれば気軽に下記事務局連絡先までご連絡ください。

slack <https://app.slack.com/client/...> hiroshima.hc@jp.ey.com 080-5512-XXXX

HCR作成要領

レポートの作り方を、“具体的に示す案内役”のように使えるツールです。

人的資本開示作業の
ココがわかる!

テンプレートの使い方 レポートの具体的な書き方 品質向上のポイント 類似時の対応策

本ガイドラインでは解決できない事や不明な点があれば気軽に下記事務局連絡先までご連絡ください。

slack <https://app.slack.com/client/...> hiroshima.hc@jp.ey.com 080-5512-XXXX

HCRテンプレート

2024 HUMAN CAPITAL REPORT 人的資本開示レポート

本ガイドラインでは解決できない事や不明な点があれば気軽に下記事務局連絡先までご連絡ください。

slack <https://app.slack.com/client/...> hiroshima.hc@jp.ey.com 080-5512-XXXX

標準指標体系

広島県として標準指標を“分かりやすい見目で一覧化した”補助的なツールです。

人的資本開示作業の
ココがわかる!

広島県人的資本開示の標準指標 指標の意義 指標の形式 算出結果の読み解き方

本ガイドラインでは解決できない事や不明な点があれば気軽に下記事務局連絡先までご連絡ください。

slack <https://app.slack.com/client/...> hiroshima.hc@jp.ey.com 080-5512-XXXX

標準指標算出フォーマット

標準指標の算出に使用するフォーマット

標準指標	算出式	算出単位	算出頻度	算出時期	算出場所
従業員総数	従業員総数	人	年次	3月31日現在	本社
従業員総数(女性)	従業員総数(女性)	人	年次	3月31日現在	本社
従業員総数(外国人)	従業員総数(外国人)	人	年次	3月31日現在	本社
従業員総数(外国人(女性))	従業員総数(外国人(女性))	人	年次	3月31日現在	本社
従業員総数(外国人(女性))	従業員総数(外国人(女性))	人	年次	3月31日現在	本社
従業員総数(外国人(女性))	従業員総数(外国人(女性))	人	年次	3月31日現在	本社

slack <https://app.slack.com/client/...> hiroshima.hc@jp.ey.com 080-5512-XXXX

HCR=Human Capital Report

■ 参考：人的資本開示作業ガイドライン

人的資本開示ツール_人的資本開示作業ガイドライン



高貴、素晴らしい、暮らしやすい
UNIVERSITY OF ECONOMICS
ひろしま



人的資本開示作業ガイドライン

人的資本開示作業を進める時に、“いつでも確認ができる地図”のように使えるガイドラインです。

人的資本開示作業の
ココがわかる!

進め方の全体像 作業手順 作業の留意点 考え方の型

本ガイドラインでは解決できない事や不明な点があれば気軽に下記事務局連絡先までご連絡ください。

slack <https://app.slack.com/client/...> hiroshima.hc@jp.ey.com 080-5512-XXXX

ツールの目的

- 誰でも開示作業を進められるようにすること
(開示作業全体の手順を示し、『どうやって進めていいかわからない』状態を極小化できる)

主な記載コンテンツ

- ✓ 人的資本経営の説明・促進の背景
- ✓ 人的資本開示のメリット・目的
- ✓ レポート作成準備含む開示作業の全体像
- ✓ 開示作業の詳細手順と考え方の型

解決されるべき課題

- 「人的資本経営の重要性がわからず必要性を感じない」
- 「人的資本経営・開示に力を入れたことに見合う効果・成果が得られるかわからない」
- 「必要性は認識しているが、何から着手してよいかわからない」
- 「人的資本経営・開示を理解していて推進もできる人材が社内にはいない」
- 「既存業務が忙しくて手が回らない」
- 「データ収集・分析等に費用や手間がかかる」

■ 参考：Human Capital Report 作成要領

人的資本開示ツール_Human Capital Report作成要領



ツールの目的

- 誰でも開示レポート作成を進められるようにすること
※レポート自体の作成に特化

主な記載コンテンツ

- ✓ 各章・ページの位置づけと説明
- ✓ 各章・ページの具体的な作成手順
- ✓ 標準的な記載内容に合わせて、レポート品質向上のポイントや難しい時の対応策

解決されるべき課題

- 「人的資本経営の重要性がわからず必要性を感じない」
- 「人的資本経営・開示に力を入れたことに見合う効果・成果が得られるかわからない」
- 「必要性は認識しているが、何から着手してよいかわからない」
- 「人的資本経営・開示を理解していて推進もできる人材が社内にはいない」
- 「既存業務が忙しくて手が回らない」
- 「データ収集・分析等に費用や手間がかかる」

■ 参考：標準指標体系

人的資本開示ツール_標準指標体系



ツールの目的

- 人的資本経営の状況を可視化する基準を示すこと
(人的資本経営を推進する上で、広島県の標準指標体系(53個)について、視認性が高く一覧化されている)

主な記載コンテンツ

- ✓ 広島県版人的資本経営モデルと標準指標の紐づき
- ✓ 各指標の意義・算出式
- ✓ 算出した結果の読み解き方

解決されるべき課題

- 「人的資本経営の重要性がわからず必要性を感じない」
- 「人的資本経営・開示に力を入れたことに見合う効果・成果が得られるかわからない」
- 「必要性は認識しているが、何から着手してよいかわからない」
- 「人的資本経営・開示を理解していて推進もできる人材が社内にはいない」
- 「既存業務が忙しくて手が回らない」
- 「データ収集・分析等に費用や手間がかかる」

■参考：標準指標算出フォーマット

人的資本開示ツール_標準指標算出フォーマット



【データ入力シート】
※このシートは、標準指標算出ツールに連携して、標準指標算出結果を出力するためのシートです。
※標準指標算出結果は、標準指標算出ツールの「標準指標算出結果」タブから確認できます。

標準指標算出結果シート (A)

標準指標	2022	2023	2024
従業員数	1,234	1,345	1,456
売上高	12,345	13,456	14,567
経常利益	1,234	1,345	1,456
経常利益率	10%	10%	10%
従業員1人あたり売上高	10,000	10,000	10,000
従業員1人あたり経常利益	1,000	1,000	1,000
人件費率	20%	20%	20%
経常利益1人あたり	800	800	800
従業員1人あたり売上高	10,000	10,000	10,000
従業員1人あたり経常利益	1,000	1,000	1,000
人件費率	20%	20%	20%
経常利益1人あたり	800	800	800

ツールの目的

- 指標算出にかかる手間を極小化すること
(通常は確認に手間がかかる、指標計算など不要にするため自動算出)

主な記載コンテンツ

- ✓ 指標算出に必要なデータ一覧
- ✓ 収集データ入力フォーマット
- ✓ 指標算出結果の表示シート(数値とグラフ)
- ✓ 計算過程の表示シート(エラー確認用)

解決されるべき課題

- 「人的資本経営の重要性がわからず必要性を感じない」
- 「人的資本経営・開示に力を入れたことに見合う効果・成果が得られるかわからない」
- 「必要性は認識しているが、何から着手してよいかわからない」
- 「人的資本経営・開示を理解していて推進もできる人材が社内にはいない」
- 「既存業務が忙しくて手が回らない」
- 「データ収集・分析等に費用や手間がかかる」

■参考：Human Capital Report テンプレート

人的資本開示ツール_Human Capital Reportテンプレート



ツールの目的

- 構図・デザインにかかる手間を極小化すること
(通常は手間がかかり、悩みがちなデザインやレイアウトが予め用意)

主な記載コンテンツ

- ✓ 各章・ページの構成・構図
- ✓ 各章・ページの基本的なデザイン

解決されるべき課題

- 「人的資本経営の重要性がわからず必要性を感じない」
- 「人的資本経営・開示に力を入れたことに見合う効果・成果が得られるかわからない」
- 「必要性は認識しているが、何から着手してよいかわからない」
- 「人的資本経営・開示を理解していて推進もできる人材が社内にはいない」
- 「既存業務が忙しくて手が回らない」
- 「データ収集・分析等に費用や手間がかかる」